

1. 〈短期展望〉 (p. 1)

① [ついに1ドル=100円の防衛ライン]

1月前半の政府のドル買いは6兆円突破。ドル崩壊の印象を与え、日本の景気回復を妨げるほどのドル安にはならず、1ドル=100円のラインは死守。

② [参院選前に政治相場で日経平均1万3,000円が目標]

小泉政権は参院選と米大統領選の資金づくりの為、1万3,000円まで上げる。UFJへの公的資金注入により不良債権処理完了をアピールしたいところ。

③ [アメリカ大統領は現職ブッシュが圧倒的に有利]

再度の大型テロ発生など突発事がない限りブッシュ圧勝は揺るがない。従来民主党系のユダヤ票もブッシュに集まり、人格者ケリー議員でも力量不足。

2. 展望① 〈迫る「新円切り替え」の可能性〉 (p. 4)

●日本政府が「新円切り替え」を断行する可能性が迫ってきた。

●2005年4月のペイオフ解禁までが国民に与えられたモラトリアム期間である。新円切り替えが行われるとすれば、2005年4月以降である。

① [日本政府の財政破綻はもう避けられない] 先進国中最悪の国債発行残高、わが国は重度の「タイタニック・シンドローム」に。

② [莫大な借金を日本政府はどうすのか] 増税も、ハイパーインフレも起こせない現状では政府による非常措置、つまり新通貨発行で切り抜けるしかない。

③ [目標は全アングラマネーの吸収] 280兆円ともいわれるアングラマネーを長期国債で吸収して合法化、それにより国債残高の約6割が解消。

3. 展望② 国内情勢 (p. 8)

① [ブッシュ再選で小泉・安倍政権長期化] イラクでの自衛隊死傷者発生でも参院選は自公で過半数確保。ブッシュ政権と一心同体の小泉政権は長期化。

② [北朝鮮拉致問題と台湾総統選挙] 拉致家族帰還に台湾が仲介を申し出る中、北朝鮮崩壊から支那大陸分裂をめぐり米英の軋轢が激化。

③ [米中二重支配を受ける日本] 表社会はアメリカの直轄支配、裏社会は支那マフィア支配、二重苦の日本に活路はあるのか。

4. 展望③ ロシア・サウジが戦術的急接近 (p.13)

昨年9月のアブドラ皇太子訪ロ以来、両国は急接近。米ブッシュ政権とオイル・メジャーの動向への牽制に両者は戦術的利益を見出している。